

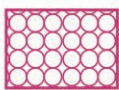


洪水ハザードマップについて

洪水ハザードマップは、下の表に示した各河川について、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

河川名	指定の前提となる降雨	河川名	指定の前提となる降雨
吉野川	吉野川流域の48時間総雨量 765mm	鮎喰川	鮎喰川流域の4時間総雨量 370.7mm
旧吉野川・ 今切川	旧吉野川流域の24時間総雨量 1,135mm	飯尾川	飯尾川流域の24時間総雨量 1,143mm
勝浦川	勝浦川流域の24時間総雨量 1,115mm	江川	江川流域の12時間総雨量 821mm
園瀬川	園瀬川流域の6時間総雨量 592mm		

想定し得る最大規模の降雨とは、「近隣の地域で観測された大雨は、同じ地域内ではどこでも同じように降る可能性がある」との考えに基づき、日本を降雨特性が似ている15の地域に分けそれぞれの地域において観測された最大の降雨量として設定されています。徳島市内の河川については、およそ1,000年に1度起こる規模の大雨が降った場合に発生する洪水による氾濫を想定しています。



● 洪水氾濫

木造家屋が流されるおそれのあるエリア



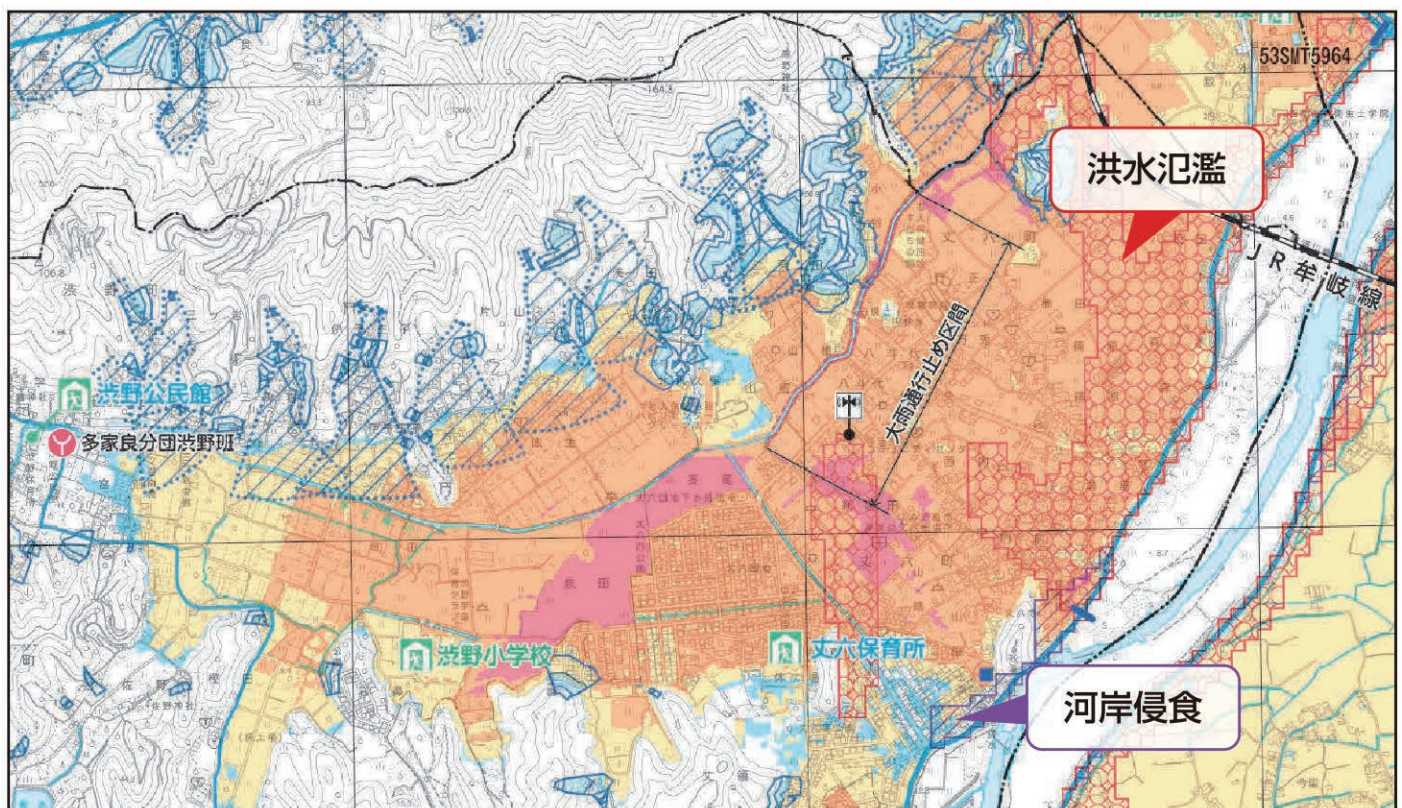
● 河岸侵食

家屋の構造に関係なく、土台ごと流されるおそれのあるエリア

早期立ち退き避難が必要な区域

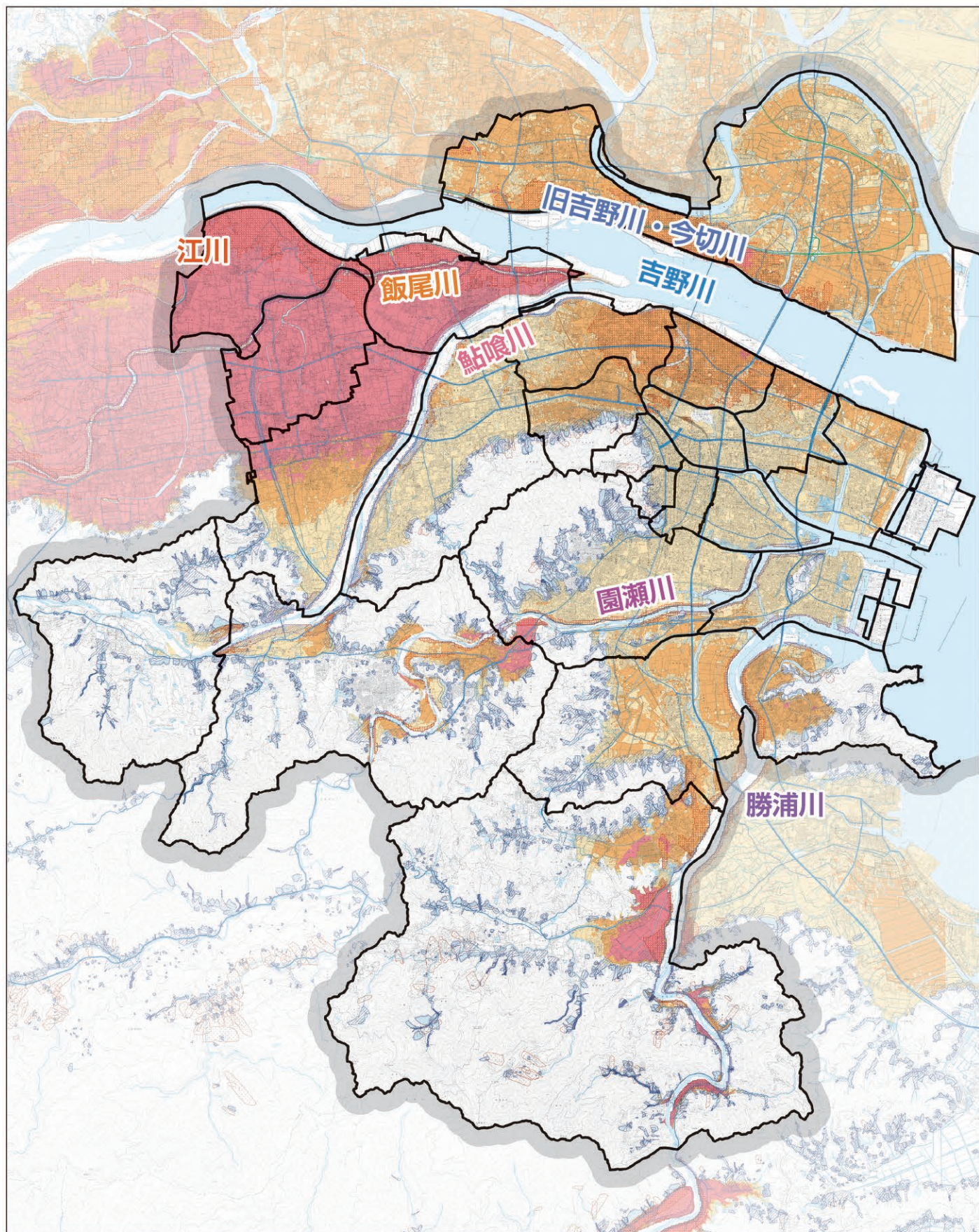
この区域は堤防が決壊した際に家屋を倒壊させるような激しい流れが発生する恐れがある区域です。

災害時は、徳島市が発令する避難情報などに従って、安全な場所に速やかに・確実に立ち退いてください。





徳島市全域図



洪水ハザードマップ対象河川

吉野川、旧吉野川・今切川、勝浦川、園瀬川、鮎喰川、飯尾川、江川